

### 第三部 内定者の官庁訪問 体験記

このコーナーでは、経験しなければなかなか実体が掴めない官庁訪問の体験を座談会風にお伝えします。訪問前のイメージトレーニングに是非お役立て下さい。

なお、掲載している情報は H26 年度のものであり、来年度以降訪問のシステムや内容に変更が生じる可能性があります。詳細はご自身で各省庁にご確認ください。

※体験記募集にあたり、共有ドキュメントに内定者各自が自由に書き込むという方法を用いました。従ってフランクな文体ですがご容赦ください※

-----総合職試験に見事合格！それで、官庁訪問って実際どんな感じ？-----

#### 【官庁訪問前に準備した事は何ですか。】

**みずパン** 官庁訪問体験記のブログを何回も見て、訪問中の一日の流れを間違えないようにだけはイメトレして準備したなー（笑）。あと、地方組は宿探しがすごく重要だと思う。

**なめこ** 説明会で配られたパンフとレジメ、省のホームページを見ながら訪問票の作成。宿は公務員の二次試験（筆記）が終わったくらいに予約してた（16連泊）。

**みずパン** 納得の行くところに泊まりたいなら、早めの予約が必要だよな。まあ僕は「どうせすぐに帰ることになるから、いいところに泊まろう！」と思いグレードの高い新橋のホテルに泊まってたら、気づいたら最終的に14万円ぐらい使ってたけど...（泣）。

**なめこ** 自分も食費とか全部こみこみでそのくらい使った(>\_<)！地方民でがつつり官庁訪問したい場合、お金は貯めておいたほうがいいね。もちろん、宿と移動手段次第でもっと減らせると思います。

(T\_T) ↑いやあ、私も毎日の往復に390円もかかって...

**みずパン** ↑ぐぬぬ.....

**たくお** 官庁訪問経験者に話を聞いたり、想定問題集を参考にしたり。

(T\_T) ちゃんと寝ていくこと。自己紹介シートはまじめにつくって行ったなあ。実際そこは結構つまられたし。研究テーマとか院生だと特に、なのかな？

**マービー** 環境省の自己紹介シートは自宅で作成できるので、時間に余裕をもって作成したほうが良いと思います。自分は前日に作成したから、ほんと大変でした。研究に関しては、概要を説明するくらいでした。まあ院卒扱いだけど、薬学部だしね...。院生は突っ込まれそうだね(笑)。

**みずパン** むしろ研究に突っ込んでくれたほうがありがたかったかなー。自分の得意分野だしね。環境省の自己紹介シートは、「書き足らなかつたら裏面に書いて下さい」という形式だから、どれくらい書けばいいのちよっと困った(笑)。

**あやち** 一応、裏まで書いたけど、あまり見られていなかった気がする...(笑)。最初のタームは、面接カードのコピーを自分たちで持って渡したら、即面接開始という人もいたかなあ。

タマ 面接シート書くために白書読み込んだくらいかな。裏面まで作りこむ余裕なかったな(笑)。自分にいたっては、堂々のPC入力して印刷での提出だった。PC入力して印刷したものを提出している人も結構居て内心凄くほっとしたのは良い思い出。

(T\_T) ↑当然のようにPC入力して印刷やと思ってたよ(笑)。裏まで書くって発想もまるでなかったわ～、改行で一行あけたくらいやったし！

むら 出遅れた。大体書かれてる通りです(笑)。民間面接もやってなかったのが初面接だったが、特に対策せずに突撃。自己紹介シートは聞かれそうなことはかなり準備していった。

(T\_T) お、ついに(むら)氏もきたか(笑)

### 【官庁訪問全体の印象はいかがでしたか。】

鯛 環境省で思ったのは、職員さんのサポートが手厚いなってとこかな？1、2年目の方々は特に待合室で緊張をほぐしてくださったりすごく助かった！

あやち 環境省は特にアットホームな感じ！待合室?で他の受験生とお話できるし、お茶が用意してあるし(笑)。

(T\_T) 環境省はほんと帰してくれる時間が早い(笑)。

みずパン 官庁訪問全体としての印象は、予想していたよりギスギスした時間じゃないってこと！それこそ省庁にもよるだろうけど、官僚の方ともっとガチガチの議論をして論破しないといけない厳しいサバイバルレースになるのかと勝手に思ってた(笑)。ただ実際は、自分の拙い考えをきちんとまとめて、最終的に自分なりの結論を出す手助けをしてくれることのほうが多かった気がする。たしかに議論も多くて大変だけど、研修みたいで勉強になって楽しかったし自分でも成長を実感できたなー。もう一回経験したい！(笑)

あやち えー！大変だったからもうやりたくない…。緊張で朝ごはん食べれないし…。

うなぎちゃん そうねそうね！官庁訪問は省庁に自分を選んでもらう場なのかと思ってたけど、実際、自分たちが何をやりたいのか、志望動機をブラッシュアップする場としてのニュアンスが大きかったと思う！だから逆に、悩みすぎたあまりにつめつめなスケジュールをお願いして話聞きまくったこともあったけど、対応してくださって本当に感謝しています。

マービー 環境省の職員の方と話せたのはほんとに良かった！話す中でどんどん疑問点が湧いてきて、自分の知識の甘さを確認できたし。環境省の官庁訪問を通して、成長していく自分を感じられた気がする。

ピペット うん、官庁訪問しながらいろんな人とお話しする中で育ててもらったなあって感じがする。自分なりの考えを職員の方にぶつけて、職員の方の話を聞きながら新しい知識とか視点を知って、それでまた考えて…っていう繰り返しはすごく勉強になりました。

あやち 他の採用区分は分からないけど、理工系の今年の内定者は包み隠さず素直に自分の思いをぶつけてる人が多かったなと思いました。(自分も含め)職員の方と人生相談みたいに、どここの省と迷ってる、とか自分はこんなことをしたい、とか。隠し事なく素直だったからこそ採用につながったのではないかと思います。とある省庁では無理でした(笑)。

- 隠れ眼鏡** はい、包み隠さなかった人です。確かに他省に行くと言省庁ごとのカラーがちょっと見える気がしました。他の省を志望している学生を見ても、どこどこ省っぽいなぁと感じる事は多かった。
- むら** 包み隠さなかった人その2。1日目に他の省庁を回ってたので、隠しようがなかった(笑)。最初から迷っているということを伝えたら、どこが違うか真摯に答えてくれて、本当に自分のやりたいことができるのは環境省だと思えた。元々1日目に回っていた所は心変わりが見透かされて落とされたが(笑)。
- みずパン** 包み隠さなかった人その3。そのおかげで逆に官庁訪問中、良いところと悪いところを包み隠さず伝えてもらえて、安心して面接にのぞめた気がする！でも、これは多分省庁にもよるだろうから、そのへんのテクニックに正解はないだろうね。

### 【官庁訪問全体で失敗した/苦労した点は何ですか。】

- タマ** 自分の合格を信じ切れなかったこと。合格してると思わなかったから対策のスタートが遅れた。試験結果発表後の対策はおすすめしません(笑)。
- うなぎちゃん** 回れる限り他省も回ってたので、短時間での考えの整理が大変でした...ただ、悩み尽くした上での決断は大変満足いくものとなったので、他省も回ることをオススメします！
- 綱** ↑私の反省はまさにそこ！もっといろいろ見ればよかったなって思う。あのときは精神的にも頭の整理するにも余裕がなくて結局2つしか回らなかったけど...自分の成長のためにもだし、他省庁の仕事内容を知っているのは仕事始めてから大事な気がする。
- (T\_T)** 確かに、他省をまわることは絶対したほうがいい！3日目とかは、事務系しかきてないようなところについて2クールお世話になったけど、「理工系で1日目に環境省行ってます」って言ったら、そっちの視点からの環境省とのやり取りや体験談を色々話してくれた。やっぱり自分を客観視できるかってところは重要やろうからね。あと、3日目やったから、控室で会う人とかも、1,2日目に色んなところまわってきていて、まわった省庁の政策で盛り上がったから、そういった友達をつくる意味でも良いかと思う！
- たくお** 環境省の政策について、やりたいことばかり列挙してしまい、「現状がわかっていない」とたしなめられてしまったこと。中途半端な知識で、これがやりたい！というのはおこがましいことだと痛感した。
- マービー** そうだね...現状の認識が甘いのに、自分はこれがしたい！という気持ちを出しすぎた部分はあったかも。でも環境省は待合室で職員の方と話せたので、自分の志望動機や現状の問題点などについて相談し、意見をもらってから面接に臨めたので、結構助かったかな。ちなみに私も合格を信じていなかったクチでした。あせってすぐにボロがでました(笑)。
- 隠れ眼鏡** 私も志望動機が甘かったな。環境教育のビジョンについて語って自己満足しかけたところで、「あなたの考える環境教育って何なの?なぜ必要なの?」と根本的なところを突かれました。待合室でのトークも含めて、考える良い機会をたくさんいただきました。それでも「志望動機が訳ワカラン」と言われてしまったけど。考えすぎて、後半暴走してた(笑)。

**みずパン** 案外、根本的な質問の論理を突き詰めていかないと、聞かれた時に難しいよね。「君の環境に対する熱意ややりたい取り組みはわかるけど、なぜ絶対に国家公務員・環境省職員じゃないとダメなのか？」という質問も、最初はうまく返せなかったなー。

**むら** 面接慣れしてなかったこと。ちょっと強く聞かれて上手く答えられなかったのが一番の失敗。答えを用意しすぎていて、逆にそういうことは誰でも言うから、あなたを採るメリットは何？と言われて固まってしまった。ただ、それがあったから改めて考え直すことができたと思う。

-----それで、環境省ではどんな事話したの?-----

**【環境省で印象に残ったやりとりはありましたか。】**

**みずパン** 面接中に課せられた「千本ノック」。クールビズが環境に優しい理由を10個即座に挙げさせられて焦ったけど、すごく面白かった！

**鯛** ①冷房の設定温度（エネルギー）②汗をかかない→臭くない③ジャケットをクリーニングにださなくてよい（節水・エネルギー・化学物質??）④家で洗濯するにしても量が減る（節水など）⑤普及しやすい⑥ヒト由来のCO2削減⑦見た目が涼しい→冷房いらぬ⑧仕事の効率↑→節電⑨涼しい→清涼飲料水を無駄に買わない（ゴミ削減）⑩帰宅後のビールの本数が減る（ゴミ削減）。げ...限界っす(;´A`;;)

**みずパン** ほとんどおんなじ事言った！それにしてもすぐに出てくるのはすごいし悔しいなー(笑)。たしか結構な時間を必死に考えて、やっと出たのに...

**鯛** ど...どやあ(笑)☆私は待合室のやりとりも印象的だったかな。2年目の方が「安全=安心」をどう伝えればいいのかって話をされたとき「はっ」ってなった。理系だと数字がものをいうってところもあるけど、そういう科学的な事実だけじゃどうにもならないところもあるって改めて気づかされた気がする！

**むら** 私は初日に他の省庁と悩んでるといったときに話してくれたことが一番印象的だった。経済も環境も両方考えなければいけない。でも、何かを決めるぎりぎりの所でどちらの立場に立つのが自分の思いに合ってるのか、という話で環境省に心変わりしました。

**(T\_T)** 『(T\_T) 君はさあ、自宅にいて突然ベランダの手すりに下から手が伸びてきたらどうするの?』「!?え〜っと、身の回りの武器になりそうなもの探します.....かね」『ふーん、君みたいな人間はそうするんだあ〜。』

**鯛** え?戦うの(笑)?

**(T\_T)** いや、幽霊ならもう色々あきらめるけど、泥棒ならひとまず撃退を試みるでしょ...(笑)?

**鯛** いいえ(笑)そういうDIYなところも評価されてるんじゃないかしら☆

**うなぎちゃん** 私はその(T\_T)さんの窓から手の質問がどの質問よりも一番印象に残ってます！今でも時々考えますもん。へアアイロンで焼くには余熱に時間かかるな...とか。友達だったら可哀想だな...とか。

(T\_T) いや、そんな深い意味なかったかもしれんよ！『こないだ、こういうことほんとにあってさ〜。君みたいな理屈っぽい人間だとどう対処するのか単純に気になったんだよね〜』って(笑)。

鯛 あったんだ(笑)。その方がどういう対処されたのかとても気になる(笑)。てかそのやりとりひっそり見てたい(笑)。

### 【環境省での面接中に困った質問はありましたか。】

うなぎちゃん たぶんこれは困ったらいけないんだけど、環境省で具体的に何をやりたいですか。って聞かれたときに、やりたいことが漠然としすぎていて具体的に答えられなくて困った。ちゃんと自分がそこで働くイメージを持たないとだな！って思った！！

みずパン 興味があった分野についてはスラスラ答えられるけど、あまり詳しくない分野についてどう思うか聞かれた時は困ったなー。白書を流し読みした程度の知識じゃ議論もできないだろうから、潔く「全くわからないので、〇〇さんに教わりに来ました！」って言いました(笑)。

鯛 私も(うなぎちゃん)と同じ質問に困った(\*\_\*)そこを官庁訪問期間中にもっともっとブラッシュアップしたかったなー。

あやち 私もです…。3月ぐらいからずっと考えたけど、うまくまとまらなかった。私は環境問題全般について興味があったし、「具体的に」っ言われても…、って。でもみんなも言っているけど、官庁訪問のなかでブラッシュアップされました！あと、環境系の学部にいると環境問題について取り組まなければいけない理由が自明すぎて思いつかなくて説明に困った。「環境に興味があるから環境問題やらなきゃいけないわけじゃないよね。」って言われた時は本当に困る。

たくお 「環境省の政策には、科学に基づいたものが多い。地球温暖化にしても、除染にしても、PM2.5にしても、科学的な根拠に基づいて予想を立てて、政策を作っている。しかし、科学には絶対はないし、今の理論が正しいかなんて誰にもわからない。また、科学的根拠と住民感情が一致しないことも多く、科学だけを基準に政策を立てることで全員を完璧に満足させることはできない。以上を前提として、何を基準に政策の方向性を決定して行くべきか考えてください。」という質問が一番苦しかった。なんと答えても投げ返されて、疲労困憊…。

### 【環境省の訪問前後のイメージに変化はありましたか。】

(T\_T) みんな、あんま変わんなかったとは言ってたよね…？

みずパン こんなこと書いたら怒られそうだけど、強いて言えば、職員の方たちが考えていたよりもずっと楽しそうに仕事されていたってことかな。とてつもなく大変で忙しい仕事ってことには、間違いなかったみたいだけど…(笑)。

鯛 それは説明会の時から思ってたー！大変そうなお話をすごーく楽しそうにされるよね！私は、女性の職員さんが思っていた以上に多かったとことかな。官庁訪問でも多くの女性職員の方に面接していただいた！



**たくお** 正直、あまり変わらなかった。だけど、職員の方と政策について語り合ったことで、環境省の持つアツい部分を強く感じたし、やっぱりここに行きたい！と何度も思った。あと、みんなも書いてるけど、皆さん楽しそうだったのが印象的だった。

**あおち** 基本的には変わらなかった！！ただ、私の場合、説明会からずっと環境省の職員の方は優しそう→恐そう→優しそう・・・の繰り返しです。なんか、真剣な人ってある意味恐そうに見えるときあるじゃないですか…。環境省のみなさんの真剣なオーラに、時々たじろぎます。

**隠れ眼鏡** イメージに変化はなかった、というよりもイメージ通りで間違いなかったと確信できました。説明会でお話されていた「Cool head, Warm heart」を身を持って感じたかな。

**むら** 説明会でのイメージの変化なのだけど。環境省は元々公害対策から始まるから、政策ツールとして規制が主だと思っていた。それが説明会での質問の解答で、補助金のような手段での推進や、福島対策での事業主体になるように、あらゆるツールを使ってより良い世界を目指すといわれて、イメージが変わった。予算も増えていると言われて、“小さい省”というイメージが払拭されたのは大きかった。

-----「人物多様性」って言うけど、例えばどんな評価ポイントがあるの?-----

【環境省で自分のどのような点が評価されたと思いますか。】

**隠れ眼鏡** 多分、行動力。在学中の留学やインターンシップなど色々な経験について話したから、チャレンジ精神隆々なイメージを持たれたかも...本当は未だに飛行機に乗るたびバクバクの小心者なのですが(笑)。

**鯛** 確かに行動力求められてそうだよな！未知の領域に果敢に飛び込む的な！私はリーダーシップかな？中高大で部活の主将やったから、面接でも「リーダーに必要なものってなんだと思いますか？」とか「主将で一番苦労したのはなんですか？」っていう質問が多かった気がする。

**(T\_T)** 自分はたぶん研究でも課外活動でも環境について考えてきて、自分の志向がある程度定まっていたから、どの角度からの質問にも一貫した回答ができてたところかが良かったのかなあ、なんて。だから、毎日来ては好き勝手しゃべってただけって感じではあったなあ。

**マービー** 継続は力なり...なのかは分からないけど、小さい頃から続けていることがあったので、その点はすごい評価されたみたいです。

**みずパン** 未だにはっきりとはわからないけど、多分、官庁訪問中の成長なんじゃないかと思ってる。

**うなぎちゃん** 官庁訪問中の成長を見ているという話は良く聞くよね！私は興味の幅が広くて行動力があるところ？が評価されていたようですが、純粋に官庁訪問や就職活動を一生懸命そして楽しんでやっていたことにも好感を持って頂けたのだと思ってます。「元気な人が好き」らしいですからね(笑)。

**みずパン** たしかに（うなぎちゃん）は何事にも全力で見てるこっちも元気出るわー(笑)。

なめこ 自分は「安定してるね～」 「芯がある」等々評されることが多かったからたぶんそこかな？こうしてみると、皆さん評価されてそうなポイントが違って、何が正解とかないんだろうな。

**【周囲の人のどのような部分が評価されていたと思いますか。】**

隠れ眼鏡 ポジティブ・シンキング!面接で打たれてもめげないところ。

鯛 それ確かに！ライオンのお母さんを思い浮かべる場面もあった(笑)話が上手なことかもすごいなーって思う。

うなぎちゃん ライオンのお母さんってなんだなんだ！？器が大きい、的な？

鯛 崖から落として這い上がってきた子を育てる的な(笑)。これまずいかな(笑)?

うなぎちゃん なんだそれ知らない(笑)。でも、官庁訪問、そんな場面が多々ありましたね。

みずパン 待合室とか官庁訪問を楽しんでいる人が残ってた気がする。少しい余裕を見せられる人のほうが、評価されやすいんじゃないかな？

(T\_T) 適度な余裕が見えるっていうのは良さげやんね。逆に、「君は緊張するとてんでダメだから(笑)」っていわれてる人もいたけど。他の人で言うと、好奇心をもって、本気で悩んで葛藤してぶつかっていったとことか、かなあ。

ピペット はい、てんでダメな人です(笑)。余裕をもつというか、堂々としていることは大事だなあとしみじみ。

**-----官庁訪問の中で、皆さんそれぞれに評価の感触を得ながら成長していったのですね-----**

いかがでしたか？

以上の体験談はあくまで今年度の内定者の主観に基づくものです。

官庁訪問には一人ひとり特別なストーリーが生まれるもの。もしこの冊子を見ていただいて、国家公務員に興味をもつてくだされば、是非将来の一つとしてご検討ください。